

[様式1] 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年3月28日		記入者		連絡先	042-684-3211
平成18年度部名	経済部		課名	相模湖経済環境課	課長名	長谷川亮司
平成19年度部名	経済部		課名	相模湖経済環境課	課長名	長谷川亮司
事務事業名	営農対策・特産物推進協議会補助金					
予算上の事務事業名	営農対策事業					
1 総合計画における位置づけ				施策コード	31510	
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして					
政策名	第1章 立地特性を生かした産業の振興をめざします					
基本施策名	第5節 都市農業の振興					
施策名	第1施策 安定した農業経営の確立					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	市補助金等に係る予算の執行に関する規則					
3 個別計画の概要				概要		
計画名						
計画年次	年度～	年度				
4 事業形態の区分	▼			5 事業開始年度	▼	
6 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)		
相模湖町内の特産物振興を図る。				相模湖町特産物推進協議会		
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
視察研修会実施 平成18年7月27日千葉県印旛村農産物直売所への視察研修会 収入 視補助金60000円、自己資金141000円						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
8 事業費の推移	〔単位：千円〕					
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	0	0	60	60	60	
一般財源	0	0	60	60	60	
受益者負担金	0	0	141	31	31	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	0	0	215	215	215	
事業コスト合計	0	0	275	275	275	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	相模湖町特産物推進協議会補助事業			対象名称と単位	研修会の開催1回	
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	0	0	275	275	275	
対象数	0	0	1	1	1	
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	275,000	275,000	275,000	
前年度比		#DIV/0!	#DIV/0!	1.00	1.00	
10 活動指標・・・実施した内容(活動)を数値化したもの						
指標名と単位	研修会の開催・特産物販売	指標式と指標の説明		実績/目標		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	

実績	0.0	0.0	1.0		
目標	0.0	0.0	1.0	1.0	1.0
目標達成度(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	研修会の開催		指標式と指標の説明	実績/目標	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	113.0		
目標	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	113.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
C	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必要性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
C	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
C	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価(一次評価)					
(1) 自動判定結果					
	[]	:良好な状態を維持する事業			
	[]	:概ね良好な状況である事業			
	[]	:見直しを行う必要がある事業			
	[]	:抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価(今後の方向性)			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		単位協議会で運営しているが、合併を機に津久井郡農協を窓口にした組織にし、支援していく必要がある。したがって、現行の見直しを進める必要がある。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策 合併後3年以内を目途に現行を見直しする。			1 5 課題として認識されたこと 津久井郡農協を介した補助制度に移行することが望ましい。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		さがみはら都市経営ビジョンに掲げられた重点プログラム(団体支援の見直し「補助制度」)を踏まえ、補助金の見直しを行う。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			



